

事務事業名	総合相談所巡回相談事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	総合計画体系	06 誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)
施策名		17 障害者の自立と社会参加の促進	課長名	江口 久子
基本事業名		3342 社会参加の促進と自立対策の推進	担当者名	剣持 和裕 (内559)
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 不明 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事業概要 巡回相談は、身体障害者及び知的障害者に対し、その更生に必要な総合相談に応じ、もって社会的更生の方途を指導し、援護の万全を期することを目的とする	全体計画 (単位:千円)
	特定財源
	一般財源
	その他
	事業費計 (A)
	人件費計 (B)
総計	トータルコスト(A)+(B)

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 対象者から相談を受け、申請所及び医師の診断書(所定の様式)等を総合相談所に進達。対象者に相談日時等を通ずる。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 相談件数 件 イ 進達件数 件 ウ
17年度計画 平成16年度と同様に行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 判定を希望する方 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 手帳(身体及び知的)を持っている、18歳以上の方	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 巡回相談を受けた後に制度を利用した方 人 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 巡回相談を受けることにより、療育手帳の認定・更新や補装具交付などの援助を受け、安定した更正制度を受けることができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 安定した更正制度を利用していると答えた方 人 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 対象者の負担の軽減や、状態の安定	

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)
投入量	特定財源	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
	人件費	千円	0	0	4	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	4	0	0	0	
活動指標	件	6	5	2	3	3	3	3
対象指標	人	4	4	1	2	2	2	2
成果指標	人	4	4	1	2	2	2	2
上位成果指標	人							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 道内では直接判定できる機関が札幌にしかないことから、道が道内各地を巡回して相談会を開催し、札幌に行けない方はこの制度を利用してもらうため。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	判定を受けることで自立し、社会参加できる福祉環境づくりへつながっている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	判定依頼は町が道に対して進達しなければならないため。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	利用する方は法で定められた方のみのため。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因]	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	町民に対して相談漏れがないように事業実施の周知徹底する。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 判定希望者が直接札幌まで行き判定を受けなければならない。
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業)		<input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能	3 改革・改善方向の部へ
		<input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない	↷ [理由]		
		<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	↷ [理由]		
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】	<input type="checkbox"/> 貢献していない ↷	【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 特に予算を計上していないため影響はない。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 可能	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 不可能	[理由] ↷
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	行政として特に費用はかかっていない。

3 改革・改善方向の部(PLAN)																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 法の規定により今後も継続する。ただし、未申請による社会的孤立を避けるため関係各位(民生委員など)の協力を仰ぐ。	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上			×														
	維持低下		×	×														
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？ 行政担当者よりも、手帳所持者の家族が本制度を熟知していることもあるため、担当職員の実験と理解が必要。																		